演習Ⅰ

担当者 鎌苅　宏司

開講時期 通年　　**単　位** 4

●講義の概要

修士論文の書き方に先立ち経済学の考え方をお話します。研究テーマが決まっていれば、論文作成のための指導が中心になります。研究テーマが決まっていなければ、できるだけ早く決めることができるようアドバイスを行います。

●講義の到達目標

受講生が設定した研究テーマに関する先行研究の理解と、そこでの研究テーマの位置付けができることを到達目標とします。

●講義計画

応用ミクロ経済論を履修していない受講生には、経済学の理解の程度に応じて文献を案内し、経済学の考え方を学んでもらいます。経済学の考え方に習熟し、研究テーマも決まっている受講生は、直ちに先行研究の渉猟と報告を行ってもらいます。

●成績評価基準と方法

基本的な経済学の考え方の理解ができているかを提出されたレポートと先行研究の報告内容で評価します。

●テキスト又は参考文献

受講生の必要に応じて、manabaに講義資料を載せます。

●受講上の留意点

研究は時間との戦いです。たとえ修士課程の１年生でも秋の学会で研究報告をすることができます。できるひとは、どんどん先に進んでください。但し、教育資源には限りがあります。あらかじめ研究テーマが決まっているひとは、次の３条件のうち、少なくとも２つが満たされていないと、２年で良い修士論文は書けないと思っておいてください。それは、(1) 演習科目の担当者が習熟している研究テーマであること、(2) 受講生が先行研究を渉猟しやすいこと、(3) 実証研究のために必要なデータが入手可能であること、です。それでも挑戦したいときは、できるだけ「工夫」をしてください。